

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 19 日

奈良市長 殿

提出者

住所 奈良市大安寺6丁目20番39号

氏名 株式会社きんでん奈良営業所
所長 奥谷 賢治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0742-62-4361



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社きんでん 奈良営業所
事業場の所在地	〒630-8133 奈良市大安寺6丁目20番39号
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) D08 設備工事業
② 事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 2023年度 完成工事高 2,600百万円
③ 従業員数	69 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出した産業廃棄物の処理は中間処理業者、最終処分業者に委託している。中間処理業者により中間処理施設にて選別・破砕処理、リサイクルに可能なものはリサイクル化し、リサイクルできないものは、最終処分業者により埋立処分が行われる。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	排出量	252.40 t	777.00 t
	(これまでに実施した取組) 発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	排出量	250.00 t	700.00 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを更に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	252.40 t	777.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	250.00 t	700.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	14.30 t	t
	(これまでに実施した取組) 発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	10.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを更に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	14.30 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	10.00 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名	株式会社きんでん奈良支店	担当者氏名	佐藤 哲心
報告者所属部署	業務部総務チーム	電話番号	0742-62-8771

産業廃棄物の種類	実績・計画	(第2面)			(第3面)			(第4面)		(第4～5面)			
		排出量	自ら再利用を行なった量	自ら熱回収を行なった量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量 (自動計算)	(委託先の区分ごとの処理委託量)		優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者
1 廃プラスチック類	前年実績	252.40t					252.40t				252.40t		
	計画	250.00t					250.00t				250.00t		
2 建設混合廃棄物	前年実績	777.00t					777.00t				777.00t		
	計画	700.00t					700.00t				700.00t		
3 木くず	前年実績	14.30t					14.30t				14.30t		
	計画	10.00t					10.00t				10.00t		
4	前年実績												
	計画												
5	前年実績												
	計画												
6	前年実績												
	計画												
7	前年実績												
	計画												
8	前年実績												
	計画												
9	前年実績												
	計画												
10	前年実績												
	計画												

(別紙)

